

◆ 発 行 ◆

いわき市教育委員会事務局  
生涯学習課  
いわき市少年補導員  
連絡協議会



◆ 連 絡 先 ◆

平少年センター TEL 22-5431  
小名浜少年センター TEL 54-1890  
勿来少年センター TEL 63-3467  
常磐少年センター TEL 43-2305  
内郷少年センター TEL 26-2974  
四倉少年センター TEL 32-2920

## 第12回 いわき市青少年育成大会

9月1日、文化センター大ホールにおいて「生かそう、きずな。未来のために！」をテーマに、第12回いわき市青少年育成大会が開催され、少年補導員や学校教職員、青少年関係団体など約380名が参加しました。

オープニングアトラクションでは、「泉中学校箏曲部」による演奏が披露され、美しい音色で会場を魅了しました。

意見発表では、昨年度のいじめ根絶作文最優秀賞受賞作品が発表されたほか、中高生の代表が、地域や学校で感じたこと体験したことをもとに日頃の思いを表現豊かに発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。

記念講演は、作家・ジャーナリストの石川結貴さんが、「孤立と虐待のないまちづくり～地域が子どもたちを支えるためにできること

～」と題し、自身の経験・取材をもとに、子どもたちを取り巻く環境、子どもたちを支えるために地域ができることを参加者に伝えました。

【意見発表者】

- ・遠藤 陽菜さん(小川小)  
平成30年度いじめ根絶作文  
最優秀賞受賞者  
「絶対だめ」
- ・福田 琴音さん(内郷第三中)  
第50回いわき北地区中学生

弁論大会 優秀賞受賞者  
「命」

- ・四ノ宮 朱理さん(湯本第二中)  
第45回いわき南地区中学生  
弁論大会 最優秀賞受賞者  
「常磐に生きる」
- ・星 愛莉さん(いわき総合高)  
「私たちのできる取り組み」
- ・鈴木 佑さん(勿来工業高)  
「相手の気持ちに寄り添うこと  
の大切さ」



「泉中学校箏曲部」によるステージ

### 子どもたちの居場所 ～大人にできる事～

いわき市少年補導員連絡協議会  
会長 松崎 総一郎

去る9月1日(日)「第12回いわき市青少年育成大会」が市文化センター大ホールにおいて開催されました。オープニングアトラクションとして、泉中学校箏曲部の素晴らしいライブを視聴することができ、子どもたちの真剣な姿勢と素敵な音色が心に響きまし

た。また、中学・高校生の意見発表はもとより、記念講演の石川結貴先生の、まさに家庭教育の在り方や青少年に関する諸問題の提起は、大変勉強になりました。

加えて、10月3日(木)同じく市文化センター大ホールにおいて、「福島県少年センター連絡協議会補導員研修会」が、県内各地からの参加者のもと、開催されました。講演1では、県警本部生活安全部少年課の杉内貴子氏による「県内の少年非行の現状」についての講演があり、講演2として、

いわきメディア指導員で、私たちの仲間である少年補導員の根本浩一氏が、DVDも使い、「インターネットに潜む様々な危険～子どもたちの未来と命を守るために～」のテーマで講演されました。

改めて、現状を理解し、私たち大人の一人一人が、子どもたちの居場所、青少年の健全育成、次代を担う子どもたちの未来へ向け、何をすべきかを考え、講演テーマのとおり、取り組んでいかなければならない「課題」を垣間見ることができた両日でした。

『いじめない みんなのえがおが たからもの』

平成30年度いじめ根絶10か条標語の部 最優秀賞 木田 一愛



## 自転車通学の高校生について

### 平東方面部

補導員 齊藤 光司

先日、夜、自動車で狭く暗い路地を運転中、無灯火の高校生らしき自転車が対向車線を走行していることに近づいてからやっと気づき、急ブレーキをかけ、危うく難を逃れた。また、別な日の夜、運転中、上下黒っぽい服を着た歩行者を数メートルのところでやっと気づき、急ブレーキをかけ、徐行して通過した。もし、夜、無灯火の高校生の自転車が、黒い服を着た歩行者と対面していたらどうなっていたのかと悪い想像をしてしまった。

自転車は、交通事故の被害者になる場合もあるが、加害者になる場合もある。補導中、高校生の運転中の携帯電話使用や、話しながらの並走、無灯火などをたまに見かける。高額賠償の加害者になるケースもある。自転車保険に全員加入し、交通ルールを守り、楽しい高校生活を送ってほしい。



## 今、補導員になって

### 平西方面部

補導員 矢野 貴美子

知人から「補導員をやってみない」と声をかけられた時、学生の頃に学校を休み映画を見に行き、補導員に声をかけられた同級生の話を思い出しました。今は、喫煙する学生、夜遅く街で遊ぶ子どもたちの姿を見かける事がなくなりました。

ある日、補導車のランプを点滅させて巡回中、二人乗りの学生に出会い、注意すると素直に聞いてくれ二人乗りを止めました。当時より街は静かになりましたが、目の届かないスマホの世界で犯罪に巻き



# Report

込まれたりしないように正しい知識を教えたり、危険行為の抑制・不審者出没の予防など「見える補導、見える補導」の大切さを感じます。これからも補導の活動をととして安全な地域づくりに少しでも役に立てるように心がけていきたいと思ひます。



## 補導員になって

### 小名浜方面部

補導員 佐々木 一枝

補導員をやりませんかと誘っていただいて、平成27年4月からお世話になっております。声をかけていただいたのが、子ども会の球技大会・フットベースボールのお手伝いを一緒にやっていた方でしたので、私でお役に立つならと、お受けいたしました。

全く経験がない中、大先輩を見習って少しずつ勉強しています。一緒に車で回っていると、子どもたちが危険にあわないように見守る、あたたかいまなざしがあります。本当に子どもたちの安全を考えているのだと頭が下がります。そして、補導員の方々、以前からPTAや育成会の活動で、長く活躍されていることを知りました。忙しい中時間を作って子どもたちのために活動していらっしゃることはすばらしいと思ひました。

私も微力ながら、少しでも地域の子どもの安全にお役に立てるよう、これからは皆様と活動していきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。



## 出会いの場「ふれあい広場」

### 勿来方面部

補導員 三戸 進

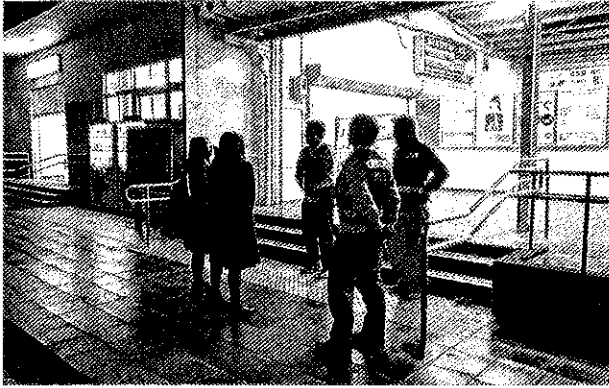
JR植田駅舎内を借り、子ども、高齢者の見守り活動と地域の安全安心確保、非行防止、青少年の健全育成を図る「うえだふれあい広場」も9年目を迎えました。地域の方々、商店街、各企業、南警察署等の温かい支援を元に活動しています。私もサポーターとして短い時間ですが足を運んでおります。勿来方面部でも夕方の補導時に立ち寄り、情報交換をしながら、この広場から徒歩補導に向かいます。以前は高校生たちが、この中で茶菓子を食べながら学

『つなげよう えがおのバトンで いじめなし』

平成30年度いじめ根絶10か条標語の部 優秀賞 本間 心菜

# 街頭補導活動レポート

校生活話など、この場を明るく盛り上げていましたが、最近少なくなったような気がします。しかし嬉しいこともありました。あの時の生徒が訪ねて来たのです。会社の中で少し苦勞をしたのでしょうか、私には立派な社会人に見えました。また出会えることが楽しみです。



## 活動5年目にして思うこと

### 常磐方部

補導員 土田 和恵

早いもので活動5年目を迎えました。以前は少年補導員という役目さえ知らず、子どもを取り巻く状況に正直興味もなく、時折報道を耳にする程度でした。私の子育て時代は今ほど問題提起される環境でもなかったような気がします。

しかし、補導員をお引受けしてから意識が変わりました。月1回の街頭補導に参加する事で少年アドバイザーの方と一緒に参加される先輩方から身近な生の情報を伺う事で、地域の子どもの現状を知り、出会う子どもたちへの目配り気配りがいかに大切であるかを学ばせていただいています。

少子化が進んでいるとはいえ、子どもたちが生きる環境の整備は私たち大人の責任であることを肝に銘じて、これからも微力ながら子どもたちに寄り添いこの活動を続けていきたいと改めて思っています。



## 早朝補導 内郷駅前で声掛け運動

### 内郷方部

補導員 高梨 栄子

恒例で、9月1週目の月曜日に内郷駅前では早朝補

導、「おはよう」と声をかけティッシュを配っていますが少人数の人たちからは返事はなく、スマホをイヤホンで聞きながら歩いています。大変危険な行為ですが私たちは注意が出来ず苦悶しています。

内郷には日本一の回転櫓が有り、8月14、15日の2日間巡回補導をしています。あえて櫓の廻りでは無く人通りの少ない所を見ながら声掛けを心がけて歩いています。知らない人たちからも腕章を見て返事があり、私たちも笑顔になります。

内郷方部は毎年小中学校1校に図書カードを贈呈しています。子どもたちは帰宅すると家の中でゲーム遊び、外で遊ぶ子が少ないです。文明の進化は良い所、悪い所が有り考えさせられますね。



## 地域に寄り添い子どもに寄り添い

### 四倉・久之浜方部

補導員 新妻 晴美

補導員としての活動も早20年を経て、子どもたちの生活行動にもだいぶ変化が見られるようになりました。特に東日本大震災以降は、地域の生活環境も変わり私たちの補導の仕方も段々変わりつつあります。

近年はスマホ等によるゲーム遊びに夢中になり友だちとの交流が減少し、相手に対する思いやり等が不足してきていると感じられます。原点にかえり幼少時より道徳教育を計り地区住民が一带となって子どもたちを見守る必要が有るのではないのでしょうか……？

先日、新聞に文科省が「スクールロイヤー」と呼ばれる専門弁護士を来年度から学校に配置するとの記事がありました。いじめ、犯罪が多様化する現代、子どもたちが安心して学生生活をおくれる環境づくりに期待したいものです。

## 『どうしたの その一言が 助け船』

平成 30 年度いじめ根絶 10 か条標語の部 優秀賞 國島 愛

# 事業紹介

## ～平成30年度いわき市少年補導員一日体験教室～

昨年11月5日、平東方面で地域住民や小・中学校PTAを対象とした、「いわき市少年補導員一日体験教室」を開催し、地域の保護者12名に参加いただき、いわき駅周辺や商業施設、住宅街等を巡回しました。

体験教室は、少年補導員の活動や青少年の実態を周知・認識してもらうことを目的としており、補導員の活動内容・補導時の心構えを説明後、実際に街中に出て補導活動を行い、巡回及び青少年への声掛けを体験いただきました。



**フレッシュな  
新任補導員から一言**  
平東方面 補導員 鈴木 達也

30年以上も前でしょうか。当時はいわゆる“不良”と呼ばれる子が存在し、トイレや階段、裏通りなどに集まっていたものでした。今、そんな子は皆無に等しく、見つけることが出来ません。きっと“良い子”になったのでしょうか。世の中、目を見ずとも会話ができ、人に会わずとも物が手に入る便利な時代になりました。移りゆく時の中で、この先どのような形で子どもたちを一番見守れるか、考えていきたいものです。

\*\*\*\*\*



## あのおばあちゃんのように

少年アドバイザー 関 大容

月に数回の朝の出勤時のことです。ある場所にさしかかると、白杖を持った少年とすれ違うことがあります。男子で多分、中1か中2、どうやらバス停まで歩いていくらしい。

ほどなく、少年の後姿を見つめるおばあちゃんに気が付きました。おばあちゃんは道路を横断して歩道に立ち、少年の姿が見えなくなるまで見送っているらしいこともわかりました。

見送る距離は200m程でしょうか。とにかく、ただ少年の後姿をジーンと見送っている。その姿からは少年に対するあふれんばかりの愛情が伝わってきます。

少年もおばあちゃんもナンテ幸せなんだ！通りすがりの私の心まであったかくしてくれる。

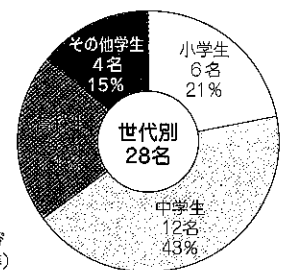
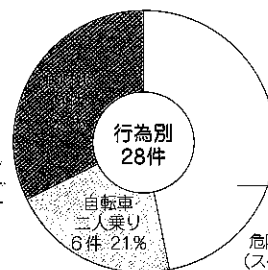
私も、あのおばあちゃんのように少年たちを見守りたい。

## 街頭補導の状況

平成30年度は、1年を通して計666回の街頭補導活動を実施し、延べ1,938名の補導員が従事しました。

街頭補導活動における補導件数の内訳は、右のグラフのとおりです。

傾向として、喫煙が無くなり、路上でのスケートボード等「危険な遊び」や自転車二人乗りが増加しております。



### ～補導日誌から～

- 薄暗い中、1人で下校する中学生がいたので、気を付けて帰るよう声をかけた。
- 駅付近で2人乗りしている男子高校生がいたので声をかけ注意したところ、すぐやめて自転車から降りた。
- 中学生男子がノーヘルで自転車に乗っていたので、補導員である教員に厳しく指導された。
- 道幅いっぱいに行進する高校生の自転車集団があったので、一列になって走行するよう注意した。
- 発車待ちの列車内を巡回したところ、自分からあいさつをしに来る高校生が多く驚いた。
- いわき駅北口駐車場は、人影はなかったが、タバコの吸い殻が多く捨てられていた。
- 海岸で遊んでいる小学生男子3名がいたので、海に入らないよう注意を促した。
- バス停でバス待ちをしている高校生が車道に足を投げ出していたので、「車にひかれたいよう」注意した。

## 『やめろよと 言えないならば 僕が言う』

平成30年度いじめ根絶10か条標語の部 最優秀賞 鈴木 空翔